

安全報告書 2022



京都丹後鉄道

WILLER  TRAINS

はじめに

平素は京都丹後鉄道をご利用いただき、誠に有難うございます。

昨年度は、緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の発出が無く、漸くコロナ禍から脱却し、正常化に向け経済活動が回復に向かうとともに乗車人員も増加しました。

また、鉄道開業 150 年の節目として、全国各地で鉄道会社による新たな取組が行われ、当社においても、新たな輸送サービスの提供や地域と一体となった取組を積極的に行いました。

そのような中、安全はすべてに優先し経営の最も重要な課題と位置づけ全社一丸となり輸送の安全確保に取り組んだ結果、鉄道運転事故は発生せず安全運行を行うことができました。

これもひとえに沿線地域の皆さまや関係機関のご支援の賜物と感謝している次第です。

今後とも、北近畿タンゴ鉄道株式会社と十分な連携を図り、ハード・ソフト両面にわたり更なる安全性の向上に取組み、皆さまに信頼される鉄道を目指してまいります。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、鉄道運転事故、輸送障害等の発生状況並びに事故防止対策など輸送の安全を確保するための取組につきまして皆さまにご報告するものです。

ご一読いただき、ご助言・ご意見をいただくとともに、末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



WILLER TRAINS 株式会社
代表取締役 飯島 徹

安全に関する基本方針と目標・重点実施施策

輸送の安全確保が最大の使命との意識を持ち、「安全方針」「行動規範」を掲げ、社長、役員及び社員一丸となり輸送の安全確保に取り組みます。

1. 安全方針

私たちは法令・規程を遵守し、輸送の安全を最優先するとともに、さらなる安全性の向上を目指して、継続的な改善に努め、安全で安定した輸送を提供し、お客様に安心・信頼される鉄道を築きあげます。

2. 行動規範

社長、役員及び社員の行動指針として「安全に係る行動規範」を定め、規範に基づき行動します。

- (1) 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故、事故の恐れのある事態、災害その他輸送の安全確保に支障を及ぼす恐れのある事態が発生したときは、人命救助を最も優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報はもれなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

3. 2023年度 安全目標

安全方針に基づき具体的な安全目標を定め、各部門において事故等の発生「ゼロ」に取り組みます。

責任事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

※当社の責任(ヒューマンエラー・設備保守・管理に起因する事象)による
鉄道運転事故・インシデント「ゼロ」への挑戦

4. 2023年度 重点実施施策

重点実施施策を掲げ、安全目標の達成に向けて取り組みます。

[1] ハード面の取り組み

国、京都府、兵庫県、沿線自治体からの支援を得て、北近畿タンゴ鉄道株式会社が行う設備投資の設計及び施工管理等を受託して、施設・車両の整備や踏切事故防止対策として踏切保安設備の整備等を図り保安度向上・安全性の向上をはかります。

[設備投資]

設 備	項 目	具体的実施内容
線路設備	木マクラギの PC マクラギ化	西舞鶴～四所・与謝野～京丹後大宮・ 網野～夕日ヶ浦木津温泉・久美浜～コウノトリの郷間 4区間 計903本
	橋マクラギの合成マクラギ化	第一水間橋梁(四所～東雲)・福田川避いつ橋梁(峰山～網野)・第三網野街道橋梁・第二網野街道・第一網野街道(網野～夕日ヶ浦木津温泉)・栃谷川橋梁(かぶと山～久美浜)・口馬路橋梁(久美浜～コウノトリの郷)・久美浜街道橋梁・第四豊岡橋梁・第三豊岡橋梁(コウノトリの郷～豊岡) 計266本
	橋梁コンクリート補強	喜多～辛皮(第二大手川 B)・大江山口内宮～二俣(第二二俣架道橋)・大江高校前～大江(河守高架橋) 計3橋梁
	トンネル改良(覆工補強)	喜多～辛皮間(小田トンネル、普甲トンネル) 計2箇所
	トンネル改良(セントル)	西舞鶴～四所(楠祢寺トンネル)・丹後由良～栗田(権太山トンネル) 計2箇所
	踏切道改良	第二水間踏切(四所～東雲)・宮津踏切(宮津駅構内)・第二桜山踏切(天橋立～岩滝口) 計3踏切
	軌道道床砕石化	天橋立構内178m・与謝野構内51m・かぶと山～久美浜91m 計320m
	橋梁塗装(フッ素塗装)	与謝野～京丹後大宮(第二五十河川 B・常吉川 B・鯨 B) 京丹後大宮～峰山(野添 B・谷川 B・長善 B・愛染 B・姫御前 B・米川 B・鱒留川 B・鱒留川(避)B) 計11橋梁
	き電線絶縁碍子更新	辛皮～荒河かしの木台間 計597個
電 路	木柱のコンクリート化	小天橋～豊岡間 計45本
信号保安設備	踏切保安設備更新(警報機・遮断機他)	京丹後大宮～峰山 新町踏切
	電気転てつ機更新	宮津駅・大江山口内宮駅・荒河かしの木台駅 計3駅6組
	通信ケーブル更新	福知山～大江間 架空通信ケーブル 13700m
	踏切電気遮断機更新	西舞鶴～かぶと山間 計16踏切(26組)
電気設備	発動発電機更新	西舞鶴駅・宮津駅・天橋立駅・峰山駅・小天橋駅・久美浜駅 6基
車 両	車両設備	特急車両用エンジン 2基・特急用変速機 1基 普通車両用エンジン 1基・普通用変速機 1基
	車両保存	重要部検査 KTR8000形 2両・KTR700形 1両 KTR300形 1両 全般検査 KTR8000形 2両・KTR700形 2両 KTR8500形 2両

[2] ソフト面の取り組み

1. 安全意識・感度の更なる向上

⇒【状態目標】 ルールや仕組みの構築、組織として安全最優先の考動を実践している。

2. 知識・技能の向上

⇒【状態目標】 安全、安定輸送を実現するために、日々の業務を着実に実行するとともに、異常時に対する仕組みの見直しや対応力の向上を継続している。

3. 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底

⇒【状態目標】 設備の継続的な維持、改善の重要性を理解し、効果的なハード対策を策定、実施することにより、重大事故の未然防止を実現している。

4. 労働災害防止の意識向上

⇒【状態目標】 社員の安全感度・安全意識の向上でリスク対応ができています。

2022年度運転事故等の発生状況

1. 鉄道運転事故

発生はありません。

2. 輸送障害(旅客列車の30分以上の遅延・運休)

62件発生しました。うち、自然災害等による事象は28件、鉄道外の原因(JR線内遅れに伴う遅発等27件・列車支障(倒木)2件・踏切支障1件)事象が30件、設備故障等の部内原因となる事象が4件発生しました。ご利用のお客様はじめ、沿線の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

3. インシデント

発生はありません

4. 行政指導等

行政指導等はありません。

2022年度「安全確保の取り組み」

令和4年度はハード面の対策を実施し設備の新設・更新をしました。また、ソフト面においては、下記5項目を中心に取り組みました。

- (1) 安全文化の構築
- (2) 運転関係係員の知識・技能の向上
- (3) 鉄道施設・車両の確実な保守・管理の徹底
- (4) さらなる安全性向上の追及
- (5) 労働災害防止の意識の向上

1. ハード面の取り組み状況

国、行政、自治体からの支援等による設備の新設、更新並びに確実な検査・修繕を行い安全性の向上に努めたほか、エクスプローラー廃車に伴い JR 東海旅客鉄道株式会社からキハ85の譲渡及び JR 西日本旅客鉄道株式会社よりマルチプルタイタンパーの譲渡を受け、さらなる安全性・利便性の向上をはかりました。

[設備投資]

設備	項目	具体的実施内容
信号	電気転てつ器更新	東雲駅 2組
	保安設備(警報機・遮断機等)更新	栗田～宮津間 城東踏切
線路	道床砕石化	宮津～天橋立・岩滝～与謝野間 301m
	PC マクラギ化	峰山～網野・夕日ヶ浦木津温泉～小天橋・ 小天橋～かぶと山・久美浜～コウノトリの郷間 1152本
	合成マクラギ化	丹後由良～峰山間 4橋梁 267本
	トンネル改良(覆工補強)	喜多～大江山口内宮間 (第一辛皮トンネル・第二辛皮トンネル・栃葉トンネル) 3箇所
	トンネル改良(セントル改良)	かぶと山～コウノトリの郷間 (第一東山トンネル・馬路トンネル)
	橋梁ペイント塗替え(強靱化)	京丹後大宮～かぶと山間 21橋梁
電路	木柱のコンクリート柱化	かぶと山～豊岡間 41本
通変電所設備	高圧受電設備更新	福知山運転所・西舞鶴運転所
電気設備	発動発電機(京都府)基盤整備	四所・東雲・栗田・与謝野・京丹後大宮・網野 6基
防護設備	鹿柵設置	丹後由良～栗田・夕日ヶ浦木津温泉～小天橋・ 大江山口内宮～二俣間 1800m
	線路側溝改良・法面固定	四所～東雲間 1箇所 7k800m
	排水設備改良	峰山～網野間 1箇所 51k900m
車両	車両設備	特急車両用エンジン 2基 普通車両用エンジン 2基
	車両更新 (JR 東海旅客鉄道株式会社譲渡車両)	2両1編成(営業車両) 令和5年3月7日引き渡し完了 2両(部品取り車両) 令和5年3月25日引き渡し完了
	車両保存	重要部検査 9両・全般検査 2両
その他設備	マルチプルタイタンパー更新 (JR 西日本旅客鉄道株式会社譲渡車両)	1編成(中古車両) 令和5年3月10日引き渡し完了

[令和4年度ハード面の取組状況]

○コンクリートマクラギ化

- 久美浜～コウノトリの郷(73k003m～73k378m)

施行前



施行後



○合成マクラギ化

- 丹後由良～栗田間(総山谷橋りょう)

施行前



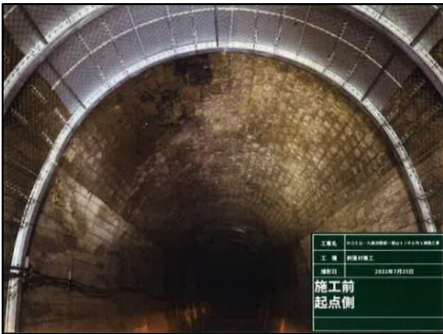
施行後



○トンネル改良(セントル改良)

- かぶと山～久美浜間(第一東山トンネル)

施行前



施行後



○トンネル改良(覆工補強)

- 喜多～辛皮間(辛皮トンネル)

施行前



施行後



○線路側溝改良・法面固定

- 四所～東雲間 7k800m(排水こう他新設)

施行前



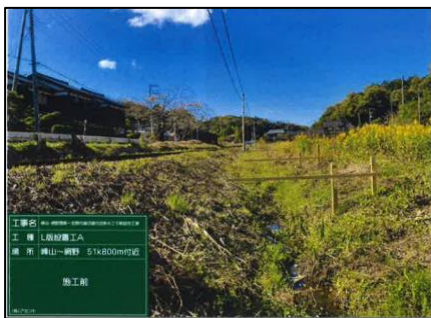
施行後



○排水設備改良

- 峰山～網野間(第一生野内踏切付近排水こう新設)

施行前



施行後



○橋りょうペイント塗替え

- 京丹後大宮～峰山間(佐野谷川橋りょう)

施行前



施行後



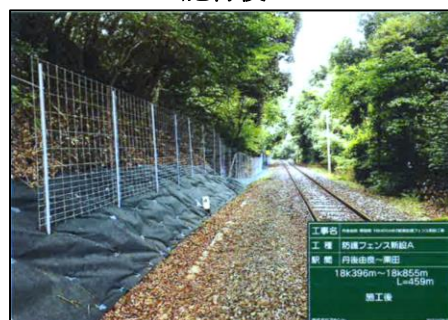
○防護フェンス新設

- 丹後由良～栗田間(18k396m～18k855m)

施行前



施行後



○道床碎石化

● 宮津～天橋立間(27k697m～27k806m)

施行前



施行後



【運転の安全の確保】

○高さ制限注意看板更新

宮津線 コウノトリの郷～豊岡駅間に設置の、第一豊岡ひいつ川橋梁(83k175m)は、高さ制限1.8Mの橋梁です。自動車が走行中に、高さ制限(桁下防護工)に接触する事故が多発しております。接触事故発生の一報が入ると係員を現地に派遣し、橋梁・線路の異常の有無を確認(安全確認)後の運行再開となり、お客様に多大なご迷惑をお掛けしておりました。

令和4年度は、6月3件・7月1件と4件の接触事故が連続発生し、安全の確保が脅かされる事態となりました。桁下防護工への注意喚起看板設置と共に、道路管理者である豊岡市様へ道路標識(高さ制限)の設置を要請しました。高さ制限看板設置以降は、接触事故は一旦収まりましたが、令和5年2月に続けて2件の接触事故が発生しました。

第一豊岡ひいつ川橋梁 衝突事象件数

年度	発生件数
平成 28 年度	2 件
平成 29 年度	2 件
平成 30 年度	2 件
令和 元年度	4 件
令和 2 年度	3 件
令和 3 年度	2 件
令和 4 年度	6 件
合計	21 件

令和4年8月9日桁下防護工注意看板取替設置



令和4年9月29日道路標識(高さ制限)取替設置完了



○勝手道(日常的に線路を横切り通行する箇所)

踏切ではないのに、日常的に地域住民の方が、線路を横切って通行する「勝手道」が京都丹後鉄道に少なくとも50カ所あることが調査した結果判明しました。

無断で線路内に立ち入ることは違法ですが、生活通路の役割を果たしている勝手道もあります。事故を防ぐため、防護柵等設置し、線路内に進入出来ないようにする事が有効ですが、莫大な費用と住民の皆様の理解が課題です。

踏切のない場所での線路の横断は鉄道営業法で禁止されており、運行に支障が出るなどすれば刑法の往来危険罪に問われる場合があります。しかし、線路が設置される前から地域住民の皆様が生活道路としていた場所もあり、横断する人は少なくないのが現状です。

今年度、注意喚起の看板を更新及び新設し、線路横断は危険である事を周知させて頂きましたが、根本的な安全確保の対策では無い事を認識し、引き続き安全確保に向け取り組みます。

- ・日常的に線路を横断(勝手道)する箇所 宮津線50箇所 宮福線 0箇所(盛り土と高架)

- ・注意喚起看板設置作業期間 令和4年7月14日～7月27日

勝手道一覧

踏切及び構造物一覧表(宮津線・宮福線)

No	区間	キロ程	記事欄	危険標看板		No	区間	キロ程	記事欄	危険標看板		No	区間	キロ程	記事欄	危険標看板				
				左右別	数量					左右別	数量					左右別	数量			
1	西舞鶴～四所間	1K815.00m	田	左右	2	令和4年7月25日	18	丹後神崎～丹後由良間	13K300.00m	由良川B	右 ロープ	1	有	35	与謝野構内	36K110.00m	田	左右	2	令和4年7月21日
2	西舞鶴～四所間	2K950.00m	畑	左右	2	令和4年7月14日	19	丹後神崎～丹後由良間	13K900.00m	由良川B	左 ロープ	1	有	36	与謝野～京丹後大宮	36K470.00m	畑	左右	2	令和4年7月27日
3	西舞鶴～四所間	3K050.00m		左右	2	令和4年7月14日	20	丹後由良～栗田間	19K900.00m	寺	左右	2	令和4年7月26日	37	与謝野～京丹後大宮	36K805.00m	畑	左右	2	令和4年7月26日
4	西舞鶴～四所間	3K250.00m	田	左右	2	令和4年7月14日	21	栗田～宮津間	23K400.00m	畑	左右	2	令和4年7月26日	38	京丹後大宮～峰山間	45K550.00m	畑	左右	2	令和4年7月21日
5	西舞鶴～四所間	3K430.00m	田	左右	2	令和4年7月14日	22	栗田～宮津間	23K930.00m	神社	左右	2	令和4年7月26日	39	京丹後大宮～峰山間	47K510.00m	畑	左右	2	令和4年7月21日
6	西舞鶴～四所間	3K580.00m	田	左右	2	令和4年7月14日	23	栗田～宮津間	24K000.00m	田	左右	2	令和4年7月26日	40	峰山～網野間	48K745.00m	畑	左右	2	令和4年7月21日
7	西舞鶴～四所間	3K880.00m	畑	左右	2	令和4年7月25日	24	栗田～宮津間	24K450.00m	民家	右	1	令和4年7月26日	41	峰山～網野間	49K450.00m	畑	左右	2	令和4年7月15日
8	西舞鶴～四所間	4K770.00m	田	右	1	令和4年7月25日	25	宮津～天橋立間	26K000.00m	畑	左右	2	有	42	夕日～久美浜	61K880.00m	畑	左右	2	令和4年7月15日
9	西舞鶴～四所間	4K930.00m	田	右	1	令和4年7月25日	26	宮津～天橋立間	26K420.00m	墓地(国清寺)	左右	2	有	43	夕日～久美浜	62K795.00m		左右	2	令和4年7月21日
10	西舞鶴～四所間	5K200.00m	田	右	1	令和4年7月25日	27	宮津～天橋立間	27K200.00m	神社	左右	2	有	44	小天橋構内	66K730.00m	畑	左右	2	令和4年7月15日
11	西舞鶴～四所間	5K270.00m	神社	右	1	令和4年7月25日	28	宮津～天橋立間	27K250.00m	神社	左右	2	令和4年7月26日	45	小天橋～かぶ山間	69K020.00m	神社	右	1	令和4年7月15日
12	四所～東雲間	6K850.00m	民家	左右	2	令和4年7月26日	29	宮津～天橋立間	27K370.00m	神社・民家	左右	2	有	46	久美浜～かぶ山の線間	73K010.00m	畑	右	1	令和4年7月15日
13	四所～東雲間	7K260.00m	民家	左	1	令和4年7月26日	30	宮津～天橋立間	27K890.00m	畑・通路	左右	2	令和4年7月26日	47	久美浜～かぶ山の線間	73K780.00m	墓地	左右	2	有
14	四所～東雲間	7K770.00m	小屋・山	左	1	令和4年7月26日	31	宮津～天橋立間	28K500.00m	山	右	1	令和4年7月26日	48	久美浜～かぶ山の線間	73K850.00m	山	左右	2	令和4年7月15日
15	東雲～丹後神崎間	9K510.00m	民家	左右	2	有	32	天橋立～岩滝口間	30K050.00m	山・畑	右	1	令和4年7月25日	49	久美浜～かぶ山の線間	74K240.00m	山	左右	2	令和4年7月15日
16	丹後神崎～丹後由良間	13K240.00m	畑	左 ロープ	1	有	33	岩滝口～与謝野間	34K400.00m	畑	右	1	令和4年7月25日	50	久美浜～かぶ山の線間	74K350.00m	墓地	左右	2	有
17	丹後神崎～丹後由良間	13K250.00m	畑	左 ロープ	1	有	34	岩滝口～与謝野間	35K510.00m	田	左右	2	令和4年7月21日							



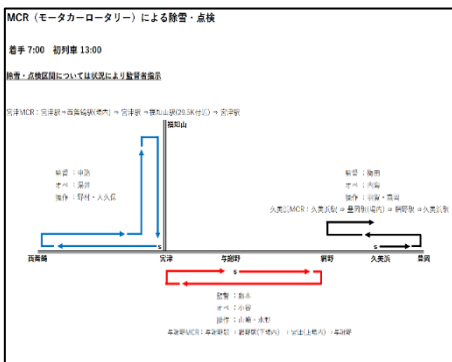
○令和4年雪害対応

令和5年1月24日に、強い寒波(大雪警報発令)が襲来し、20時以降全線区で計画運転休止を実施しました。

翌日25日についても、計画運転休止を継続させ、鉄道事業を通じた地域貢献の役割を果たす思いから、社員一丸となり万全の態勢で、安全確保(モーターカーロータリー車による除雪及び、ホーム、ポイント除雪)に取り組み、13時00分から全線運転再開しました。

計画運休は、お客様の安全確保が困難(運行中の列車が、駅間で停車等、重大な輸送障害を発生させて、お客様の安全を脅かす事象を防ぐ)であると判断した時は、京都丹後鉄道の安全を守るための重大な決断(計画運休)にご理解をお願いします。

1月28日・29日は、再び寒気が流れ込んだ影響で雪が降り続き、安全確保に全力で取り組みましたが、倒木(28日4箇所・29日2箇所)が発生し、終日列車ダイヤが乱れ、地域住民の皆様をはじめ、京都丹後鉄道をご利用されるお客様に、多大なご迷惑をお掛けする結果となりました。



[安全の確保推奨事例]

- 令和5年1月20日宮津駅構内階段付近で、不審な行動をとる人物を認め、迷惑行為の犯人逮捕につながる功績がありました。これは常日頃からお客様の安全・安心に対して真摯に取り組んだ結果で、他の駅員の模範として本部長表彰を受賞しました。



[災害支障(動物障害)]

- 過去8年間(平成27年から令和4年)に発生した動物障害は、下記に示すように、年々増加しております。

災害支障 (動物障害件数)

年度/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	35	36	61	31	36	34	28	41	46	43	27	30	448
平成28年度	13	25	63	35	39	32	52	46	41	37	20	42	445
平成29年度	21	25	56	40	35	47	46	24	24	31	22	14	385
平成30年度	22	23	79	22	38	46	58	42	56	49	34	39	508
令和 1年度	35	39	74	38	45	38	77	23	36	30	33	39	507
令和 2年度	36	30	78	58	38	55	78	32	55	35	28	25	548
令和 3年度	28	51	61	50	62	50	82	55	31	53	26	26	575
令和 4年度	30	33	83	46	43	54	98	45	50	39	35	35	591

※宮津線 83.6 km 宮福線 30.4 km 計 114 km

豊岡市獣害(鹿等)くくり罠設置効果状況

1 くくり罠設置時期 令和3年3月29日

2 くくり罠設置区間 久美浜～コウノトリの郷駅間(77k100m～78k742m区間)

区間	くくり罠設置区間77k100m～78k742m												合計												
	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83													
R4		1	1	2	1	1			3	3	2	1	3	2	1	1	1	3	1	2	1	1	2	1	57
R3		3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	41
R2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	61
R1		1	2	1	3	2	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	60
H30		2	1	1	2	1	1	1	2	1	1	2	2	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	73
H29		1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	50
H28			1	2	1	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	48
H27			1	1	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	37
合計	2	1	5	3	6	3	5	3	9	10	9	8	5	3	1	5	1	2	3	1	5	1	1	1	1

3 くくり罠設置 馬路トンネル(77k100m)～下宮トンネル(78k742m)間 年度別衝突件数

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
6頭	8頭	14頭	23頭	13頭	8頭	3頭	18頭

4 くくり罠 月別捕獲実績

R3年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4頭	4頭	3頭	4頭	5頭	4頭	2頭	5頭	3頭	1頭	1頭	2頭	38頭

R4年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
7頭	4頭	6頭	1頭	1頭	2頭	7頭	1頭	2頭	2頭	0頭	2頭	35頭

[JR 東海旅客株式会社キハ85系車両譲渡]

○ JR 東海旅客鉄道株式会社は、高山本線の特急「ひだ」や紀勢本線の特急「南紀」に使用されているキハ85系気動車特急車両の置き換えとして、ハイブリッド方式の HC85系車両に順次置き換え投入が進んでおり、現在使用されているキハ85系気動車特急車両を譲り受け、WILLER TRAINS 線内特急として使用させていただきます。

- ・車両型式 キハ85系 車両番号 キハ85-3・キハ85-12 (営業車両)
- ・譲渡行程 京都鉄道博物館展示 令和5年 2月23日～3月 5日
西舞鶴運転所搬入 令和5年 3月 7日
- ・譲渡行程 車両番号 キハ85-6・キハ85- 7 (部品取り車)
西舞鶴運転所搬入 令和5年 3月25日

【現車確認】 令和4年2月22日

JR 東海旅客鉄道株式会社 名古屋車両区において、現車確認を実施しました。



【現車教育】 令和5年2月24日

JR 西日本宮原総合車両所において、現車講習を受けました。



【営業車両】 令和5年3月7日

キハ85-3・キハ85-12西舞鶴運転所に入庫しました。



【部品取り車両】 令和5年3月25日

キハ85-6・キハ85-7西舞鶴運転所に入庫しました。



【JR 東海キハ85系車両を北近畿タンゴ鉄道所属車両 KTR8500 形へ型式名称変更】

- キハ85-12 ⇒KTR8501(営業車両)
- キハ85- 3 ⇒KTR8502(営業車両)
- キハ85- 6 ⇒KTR8503(部品取り車両)
- キハ85- 7 ⇒KTR8504(部品取り車両)

【KTR8500形車両 今後の予定】

全般検査(機関・変速機)等、北近畿タンゴ鉄道仕様に改修後、線内特急予備車として、運用開始となります。

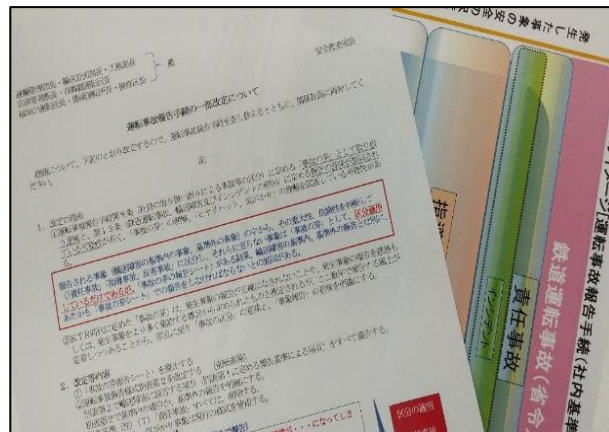
2. ソフト面の取り組み状況

【安全文化の構築】

① 報告の重要性の浸透と正確な報告の徹底

・報告することの定着化が深度化されていますが、更なる正確性をもって報告できるように推進しました。さらに、報告を全系統にメール等で配信、共有し、迅速な対応ができるように努めています。

・ヒヤリハット、気がかり事象については報告しやすい工夫と、ヒヤリハット、気がかり事象の報告で、リスク予知、安全意識の向上につながることを取組を継続しています。



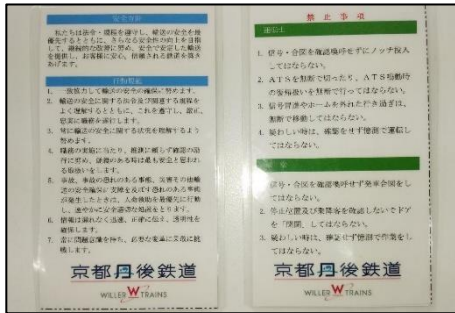
② 発生事象の共有化と対策の検討周知

・安全対策委員会が形骸化することなく、過去の対策も検証しつつ、過去対策の確認と愚直に継続ができるように努めています。

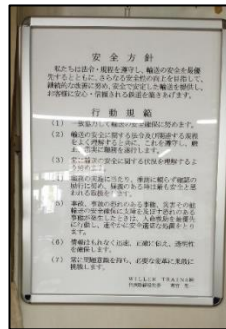
○安全意識の向上

- 安全方針、行動規範及び各系統の禁止事項を記載したカードを作成、社員一人ひとりに配布、常に携帯するとともに、本社や現場事務所に掲出し、点呼等で唱和、知悉度テストで確認するなど、安全意識の向上に努めています。

(携帯カード)



(安全方針・行動規範)



- 本社、現場とのコミュニケーションとして「安全の日(毎月14日)における職場巡回・意見交換等を継続して実施しています。

[主な取組内容]

- 「安全の日」看板掲出



- 本社幹部と現場社員の意見交換会
- 列車添乗、現場巡回、作業立会
- 本社、現場の情報の共有化等
- 職場の環境整備、整理整頓、点検等

- 本社幹部は、毎月の「安全の日」には現場を巡回し、安全管理等の把握に努めています。また、多客期間(年末年始、夏期輸送)には、社長、役員等が現場社員と直接コミュニケーションを図り、運行の安全確保に努めています。

[運転関係係員の知識・技能の向上]

○定期的な訓練・勉強会の充実と確実な実施

各系統において年間の教育計画を策定し、計画的に勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めるほか、部外の教育機関等も活用し教育の充実に努めています。

年度	項目	内容	実施状況		実施回数	参加人数	備考
			計画	実績			
2022年度	運転関係係員	1. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		2. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		3. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		4. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		5. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		6. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		7. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		8. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		9. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		10. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		11. 運転業務の安全確保に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	
		12. 運転業務の効率化に関する教育	計画	実績	12回	1,200名	

【主な教育訓練】

新型コロナウイルス感染拡大防止を念頭に、法に定める訓練等のほか、各系統における勉強会等を実施し知識・技能の向上、技術継承に努めました。さらなる充実、工夫に努めてまいります。

【駅運転係員】

- (駅運転) ・列車取扱訓練(分併作業訓練、解放テコ扱い、代用手信号の取扱、)
・災害時の取扱勉強会 ・各種工事の取扱 ・ダイヤの理解 ・除雪教育(触車事故防止要領等)
・知悉度テスト等

○エレベーター救助訓練 令和4年5月30・31日 教育人員 20名



○特急気動車(丹後の海編成分割・併結教育) 令和4年6月17・18日 教育人員 17名



○駅運転係員養成(天橋立駅入換訓練) 令和4年8月23・24日 教育人員16名



○指令勉強会(大江山内宮駅解放扱い訓練) 令和4年9月21日 教育人員10名



○指令勉強会(伝令法訓練)令和4年10月17・18日 教育人員10名



○除雪教育 令和4年11月11・15・17日 教育人員17名



【運転士・車掌】

(乗務員)・年間12時間以上

- ・運転士訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、気象異常時の取扱、知悉度テスト等)
- ・車掌訓練(異常時の取扱、鉄道人身事故対処方、サービス機器異常時の取扱、知悉度テスト等)

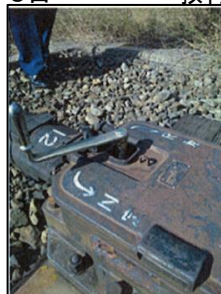
○自連カバー取り付け教育 令和4年12月2日

教育人員 3人



○転てつ器手動転換教育 令和4年12月5・6日

教育人員 12人



○電車線雪払い教育 令和4年12月8日

教育人員2名対象



【検修関係】

- (検 修)・触車事故防止要領、MF・KTR車全般検査・要部検査教育実習、知悉度テスト等
- ・操車担当、信号担当に対して「入換に関する規程等」教育、知悉度テスト実施

【工務関係】

(施 設)・全作業員への教育:年1回4時間以上

(運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等)

- ・新任社員(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト等)
- ・新任者教育(線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱)
- ・感電事故防止、除雪作業等教育

(電 気)・全作業員への教育:年1回4時間以上

(運転関係規程、災害警備マニュアル、触車事故防止、列車防護線路災害等の応急復旧、安全作業、知悉度テスト等)

- ・新任社員(運転関係規程、災害時等の運転規制、ダイヤの勉強、触車事故防止要領、列車防護、知悉度テスト等)
- ・新任者教育(線路閉鎖工事、トロリー使用、保守用車取扱)
- ・感電事故防止、除雪作業等教育

○保守用車監督訓練(宮津～下天津間レール運搬) 令和4年5月26～27日 教育人員1名

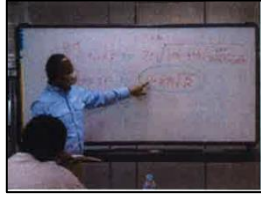


○軌陸車訓練 令和4年8月23日 教育人員12名



○令和4年度 3年次土木技術者講座

令和4年9月5～9日 教育人員2名



○モーターロータリー取扱訓練 令和4年11月9日 教育人数22名



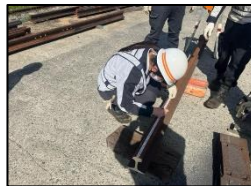
○応急処置器取扱訓練 令和4年12月8日 教育人数6名



○プラットフォーム教育 令和5年3月16日 教育人数9名



○レール切断機・穿孔機取扱い訓練切断訓 令和5年3月28日 教育人数6名



【非常時訓練】

○福知山駅・JR 福知山駅合同消火訓練 令和5年3月24日



○異常時取扱訓練 令和5年3月28日 教育人数9名



○女性社員を対象とした宮津警察による防犯訓練

- ・実施日 令和4年10月19日 14:00～
- ・実施場所 宮津ターミナルセンター多目的ホール
- ・訓練内容 勤務中又は通勤途中等に、万が一危険な場面に遭遇した際に自分自身を守る為の実技指導及び被害に遭わない為のポイント、宮津警察の防犯担当また護身術の先生による講習。
- ・参加者 WILLER TRAINS 15名



【異常時対応訓練等の実施】

各現場の異常時対応能力の向上を目的とした異常時訓練は、駅指令員については実設訓練で実施。また検修・工務系統においても経験の浅い社員を対象に応急復旧訓練をおこなっています。今後とも、各系統において技術力向上のために工夫をした訓練の実施を継続します。一方、当社が主体となり、系統をまたがる訓練、警察・消防等と連携した緊急時対応訓練を実施しました。

○テロ対応訓練

列車内で刃物を持った男性が無差別に乗客を襲い、多くのけが人が出ている状況を想定し、迅速、的確な情報提供と、お客様の避難誘導・関係機関は犯人制圧と、救護救出を目的に訓練を実施しました。

- ・実施日 令和4年 7月 8日 12:10～
- ・実施場所 天橋立駅構内 2番ホーム
- ・訓練想定 走行中の列車内で刃物を持った男が暴れており、車内に多数の負傷者発生
- ・参加者 WILLER TRAINS 30名
宮津警察 12名
宮津与謝野消防 18名 コロナ対応により、急遽訓練参加辞退



○WILLER TRAINS から JR 山陰本線へ直通乗り入れしている車両(KTR8000形)が、JR 線内での脱線事故発生を想定した現車確認を実施しました。

- ・実施日 令和4年9月29日 13:00～
- ・実施場所 WILLER TRAINS 福知山運転所
- ・訓練想定 KTR8000形脱線復旧に向けた脱線復旧機材設置 現車確認。
- ・参加者 WILLER TRAINS 5名
JR 西日本福知山支社 7名



[人材の育成(採用・部外教育・資格者育成)]

○事業継続を支える新規・中途採用

高齢化した社員の退職等に伴い、地元出身者の雇用拡大を図り、安定的な事業継続のために積極的な新規・中途採用等を行いました。

系 統	運輸系統 (駅・車掌・運転士)	車両	工務	他	合計	記事
令和4年度採用人員	13	3	1	5	22	R3年度:22名採用

○入社式 令和4年4月1日



○令和4年度上期入社社員フォローアップ研修

入社後経験して来た事象の中で、困難に感じた点や疑問などを挙げ、先輩社員からの解決策や助言を今後の業務の糧として吸収し、この半年を振り返りとなりました。また、若手社員同士の久々に顔を合わせる者もあり、良い交流の機会となりました。



○部外教育機関の積極的な活用

各系統において若手社員、経験の浅い社員並びに中堅社員に対する教育について、部外の専門的な教育を受講することで知識・技能の向上をはかっています。

項 目		運輸系統	施設系統	電気系統	車両系統	計
令和3年度	受講講座数	5	0	0	1	6
	受講人員	2	0	0	0	2
令和4年度	受講講座数	5	3	7	1	16
	受講人員	8	3	7	1	19

○資格者の育成

継続的かつ安定的に業務を遂行していくために、各系統においては業務に必要な資格取得を継続するとともに、世代交代に向けて運転士養成等を行いました。

項 目	運転士(DC)	運転士(EC)	車 掌	指令員	信号係員	計
令和3年度	5	0	7	1	0	13
令和4年度	4	0	4	1	0	9

※その他資格者教育

- ・小型移動式クレーン講習 1名
- ・床上式操作クレーン講習 2名
- ・フォークリフト講習 1名
- ・玉掛講習 1名
- ・ガス溶接 1名
- ・ユニック操作講習 1名

【乗務員養成】

○動力車操縦者(甲種内燃車)DC

- 1 令和3年12月～机上教育 令和4年3月学科試験 令和4年 5月技能試験 2名
- 2 令和4年 6月～机上教育 令和4年9月学科試験 令和4年11月技能試験 2名
- 3 令和4年12月～机上教育 令和5年3月学科試験 令和5年 5月技能試験 2名予定



○動力車操縦者(甲種電気車)EC

養成無し

○車 掌

- 1 令和4年3月15日～机上教育 令和4年 4月 1日～見習い 2名
- 2 令和4年9月26日～机上教育 令和4年10月13日～見習い 2名
- 3 令和5年3月15日～机上教育 令和5年 4月 1日～見習い 2名予定



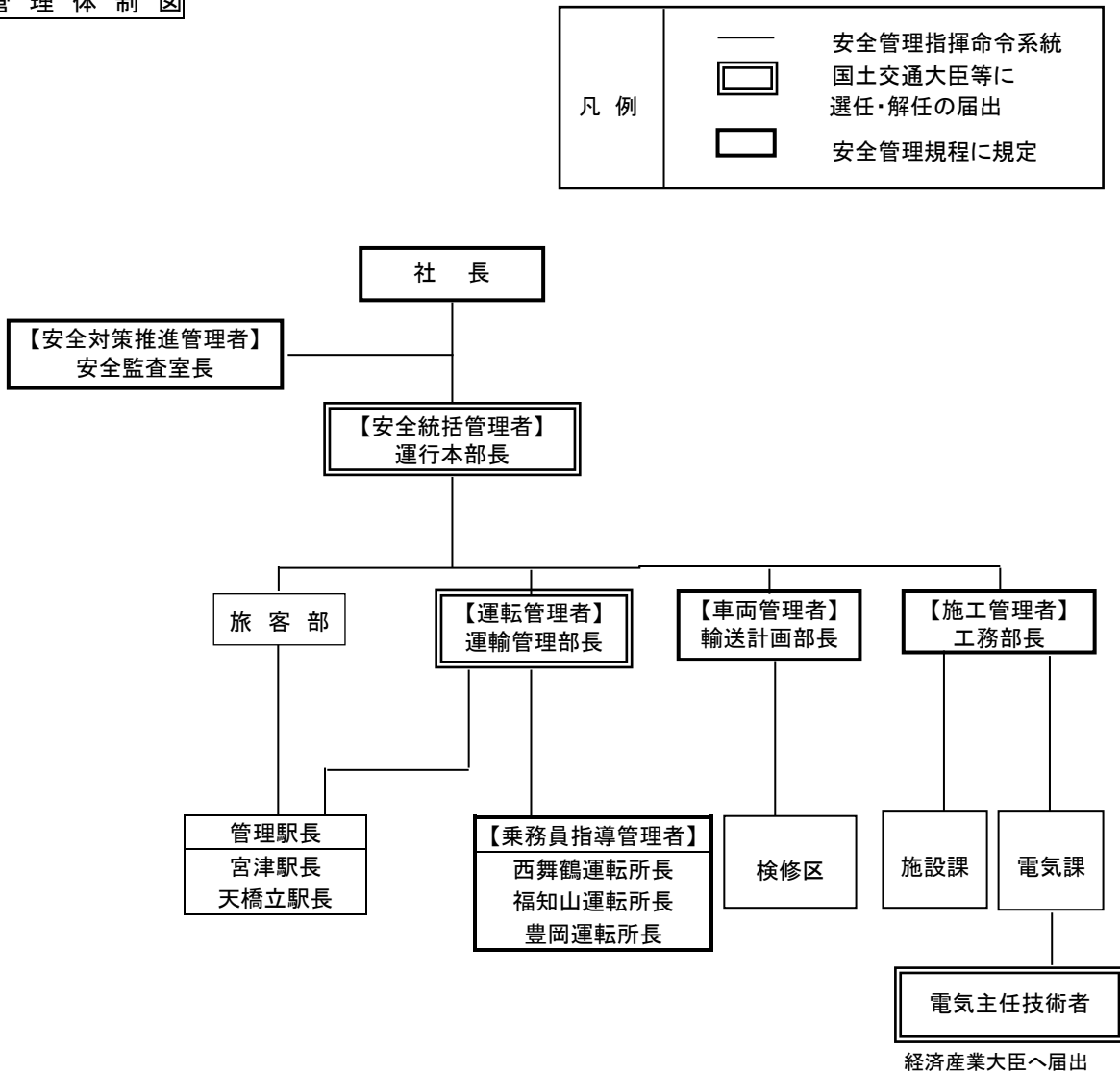
安全管理体制整備等、安全の取り組み

〔安全管理体制〕

○安全管理規程を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しています。安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者を選任し、その責務を明確にしています。

役 職	役 割
社長	輸送の安全の確保に関する最終責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮のもと、列車の運行管理、乗務員の育成及び資質の維持その他運転に関する業務を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮のもと、乗務員の資質の維持を管理する。
施工管理者	安全統括管理者の指揮のもと、鉄道施設を維持管理するため、施設業務を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮のもと、車両を維持管理するため、車両業務を管理する。
安全対策推進管理者	事故防止に関する事項、輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

安全管理体制図

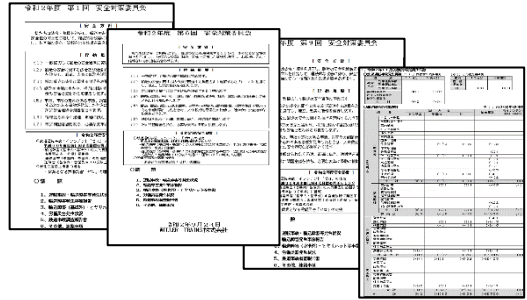


[安全に関する会議等]

○安全対策委員会[毎月第3木曜日開催]

安全統括管理者を委員長として、各系統の責任者・現場長等が出席し、安全・輸送に関するデータをもとに、鉄道運転事故等の未然防止策、再発防止策等の安全対策について意見交換、情報の共有化等を図っています。

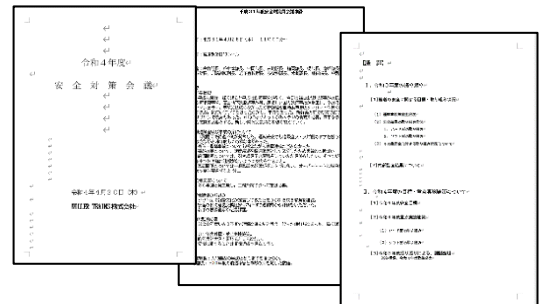
- ・出席者 社長、本社内各部長・関係課長、各現場長
- ・議題 運転事故等発生件数、発生内容
発生事象の原因究明・対策の水平展開等
「事故の芽」等その他事象の水平展開等
労働災害発生状況
運輸局等事故情報の水平展開(事例研究)



○安全対策会議[令和4年4月28日開催]

社長を議長として、安全管理規程に定める安全統括管理者、運転管理者、車両管理者、施工管理者、乗務員指導管理者、電気主任技術者等により、運転並びに労働災害事故の防止について協議しさらなる安全性の向上に努めています。

- ・開催日 毎年1回
- ・出席者 社長以下安全管理規程に定める管理者及び各現場長
- ・議題 前年度の輸送に関する目標・取り組み状況
前年度安全管理体制に係わる内部監査結果等の確認
次年度の目標・重点実施施策の決定等



○他会社(JR、協力会社等)の事故防止会議・合同会議等への参加

事故防止、安全対策等の情報の共有化等で連携を図り事故防止に努めています。

[車両] JR福知山支社電車区・WILLER TRAINS 合同脱線復旧訓練

開催日 令和4年 9月29日

開催場所 WILLER TRAINS 福知山運転所

訓練内容 KTR8000形(丹後の海編成) 脱線復旧訓練



[電気] JR西日本近畿統括本部福知山電気技術センター・WILLER TRAINS 電気関係 合同事故防止会議

開催日 令和4年11月22日開催

議題等

- 1 西日本旅客鉄道(株)の組織改正について
- 2 作業・事故時における連絡体制について
- 3 事故事例検討(力・信・通)(JR)(WT)
- 4 協定等の一覧について
- 5 保全・工事における会社間情報提供
 - ・福知山変電所老朽取替工事
 - ・山陰線 B_SRC 更新



○安全評価外部委員会

鉄道輸送や設備管理等について、安全対策の更なる充実のため、鉄道安全分野において高い技術力や見識を有する外部専門家により、ご指導・ご助言をいただく安全評価外部委員会は、今年度は10月及び4月に開催しました。

・委員会メンバーの方々

委員長 東京大学 生産技術研究所 教授
委員 静岡英和学院大学短期大学部長
京都大学名誉教授 防災研究所元所長
株式会社京三製作所 上席特別顧問 首席安全性評価監理官
鉄道総合研究所車両制御技術研究部

須田教授
重森教授
中川名誉教授
水間特認教授
小笠主管研究員

・令和4年度 第14回 安全評価外部委員会

- 開催日 令和4年10月14日・15日
- 開催場所 14日宮津駅ターミナルセンター 多目的ホール
- 概要
 - ・獣障害
 - ・獣害(鹿等)くくり罠設置効果状況
 - ・獣害(高周波音害獣忌避装置)設置検証
 - ・車両修繕の現状
 - ・施設修繕の現状 宮津線マクラギ状態(本線)除草一覧
 - ・ドローンを活用した沿線タケ管理マップ



○ 開催場所 15日現地視察

- ・運輸系統(宮津運転指令、西舞鶴運転所)
- ・車両系統(福知山運転所)
- ・施設系統(第一生ノ内踏切(1種)・大糸川橋梁)
- ・電気系統(宮津変電所・宮津信号機器室・城東踏切(1種)・第三小寺踏切(4種)・浜野路踏切(1種))



・令和4年度 第15回 安全評価外部委員会

- 開催日 令和5年4月6日
- 開催方法 Web会議
- 概要
 - ・令和4年度運転事故等の発生状況
 - ・勝手道進入看板設置
 - ・倒竹木発生状況
 - ・獣障害
 - ・獣害(鹿等)くくり罠設置効果状況
 - ・車両修繕の現状
 - ・キハ85導入
 - ・施設の現状
 - ・R4 電気関係設備故障の現状

北近畿タンゴ鉄道

- ・R5.3.1 臨時安全評価外部委員会(要旨)

[内部監査]

○安全管理体制の構築・改善における取組の適合性及び安全管理体制の有効性の確認を行うことにより、安全管理体制上の課題や問題点を見出すことを目的に、毎年、内部監査員が各部門別(本社部門・現場合同)に監査を実施しています。

(内部監査の流れ)

監査計画・監査チェックシート等作成 ⇒ 周知・配布・回答 ⇒ 現場で監査実施(インタビュー等) ⇒ 部門別監査結果作成 ⇒ 各部門別報告書等送付 ⇒ 安全対策会議に付議・報告

監査結果は是正・改善に努めるため、翌年度の重点実施施策への反映や監査の実施方改善に活かすほか、月実施の「安全の日」等を活用し確認するとともに、翌年度の監査においても確認し改善に努めています。

また、監査行程、監査内容及び監査結果等は取締役会に付議・報告し経営トップのもと取り組んでいます。

(監査項目)

- ① 安全方針・行動規範の周知・実施状況の確認
- ② 安全重点施策の実施状況の確認
- ③ 教育訓練・研修計画などの確認
- ④ 法令等の遵守状況(未然防止のための予防措置の状況確認)
- ⑤ 情報伝達・コミュニケーションの確保
- ⑥ 事故・ヒヤリハット情報の収集及び活用
- ⑦ 規程・帳票類、運転関係用品の整備の確認
- ⑧ 過去の事故に対する対策の実施状況

(監査日時)

令和5年2月13日～令和4年2月20日の間で実施しました。



[お客様・沿線の皆さま・関係機関との連携]

○宮福線 大江山口内宮～二俣間府道532号線高架橋下の落書きを、福知山警察署・沿線の子供たちと共に塗消しました。

令和4年6月25日 参加人員 沿線の子供たち12名、福知山警察5名



○舞鶴市立高野小学校 2年生の皆さんによる町探検(西舞鶴駅見学)
令和4年11月9日 参加人員20名



○栗田中学校、地元「さくらの会」自治会により栗田駅・丹後由良駅清掃を実施していただきました。
令和4年12月3日(土) 栗田駅40名、丹後由良駅20名参加



その他

○子育て中の社員との意見交換会

中小企業に求められる子育てと仕事の両立支援は、社員が十分な力を発揮してもらうために、働きやすい職場環境を用意することです。中でも「子供を授かり、育てながら仕事が続けられること」は、必要不可欠な要素です。子育てと仕事の両立支援制度を充実させ、働きやすい環境を整えることで、中長期的に企業にさまざまなメリットをもたらす最も大きな効果は、女性社員の定着です。中期的にも長期的にも、女性社員の定着率が高まれば、意欲や能力のある女性に活躍してもらえる可能性を高めることができます。また、定着率が高まることで、「職場全体の雰囲気が良くなる」「社員間の信頼が深まる」「社員のモチベーションが高まる」「仕事の効率化・業務改善など、生産性向上に結びつく」といった効果も期待でき、更なる安全性の向上に繋がります。

令和5年1月16日 参加人員16名



○「新型コロナウイルス感染防止」への取り組み

2022度は、まん延防止等重点措置が3月21日に解除され、With コロナに向け新たな段階への移行に向け、改めて一人ひとりが、「自分が感染しない、ほかの人に感染させない、感染をひろげない」を常に意識した、新型コロナウイルス感染症拡大を防止していく役割に加え、事業を通じた貢献拡大という役割が求められる中、あかまつ号につきましては、令和2年5月13日から座席数を33名から20名に上限設定しておりますが、10月1日に所定座席数33名で運行を再開しました。

くろまつ号につきましては、引き続き座席数上限設定を継続しており、お客様には大変ご迷惑をお掛けしております。

(お客様への対応)

- ①全車両の消毒（運行前の消毒）
- ②運転中の車内換気対策
- ③お客様用の消毒薬を車内、駅改札口等に設置
- ④身体的距離の明示
- ⑤お客様と接する窓口にビニールカーテンを設置
- ⑥観光列車(くろまつ、あかまつ)乗車の乗車前の検温実施、座席定員数の変更
- ⑦観光列車(くろまつ、あかまつ)足ふきマットへの次亜塩素酸散布
- ⑧観光列車(くろまつ)で配膳等における手袋着用
- ⑨金銭授受時のコイントレーの使用
- ⑩お客様への感染防止対策の案内放送の実施
- ⑪宮津駅・天橋立駅待合室へパーテーション設置(宮津市の協力)
- ⑫丹鉄車両に Dr.OHNO、特殊なフッ素樹脂と光触媒を組み合わせたコーティング材散布
- ⑬列車運賃箱前へのビニールカーテンを設置

(社員の対応)

- ①係員のマスク着用
- ②係員の出勤時等の体温チェック
- ③各職場に消毒薬の設置
- ④手洗い・うがいの励行
- ⑤除菌アルコールスプレー個人配布
- ⑥除菌ウェットティッシュ個人配布



○「鉄道関係近畿運輸局長表彰」受賞

令和4年10月13日令和4年度鉄道関係近畿運輸局長表彰式において、運転責任事故ゼロはもちろんのこと日々安全について真摯に取り組んできた行動が評価され、「運転無事故表彰」を受賞しました。



安全報告書へのご意見の募集

安全報告書の内容や弊社の取り組みについて、下記までご意見をお寄せください。

ご連絡先 本社 安全監査室 電話 0772-22-8571

FAX 0772-25-2380

メールアドレス otoiawase@willer.co.jp

受付時間 月～金 9:00～18:00(祝日を除く)